

ほっかいどう



#今こそ食べよう北海道

道産食品を食べて北海道の生産者を応援しましょう！
広げよう「#今こそ食べよう北海道」

特集 今こそ食べよう北海道

北海道総合計画改訂 新型コロナウイルス感染症対策 Pick up! 地域情報 赤れんがニュース 道議会レポート おいしい道産品プレゼント



道では、道内百貨店や小売店、飲食店などの取り組みと連携し、道産食品のPRを行う「今こそ食べよう！北海道」フェアを開催しています。道内百貨店で開催される北海道物産展で使える「プレミアム付商品券」のほか、道産食材を使ったメニューを提供する飲食店、通販サイトなどの情報をウェブサイトで紹介しています。

今こそ食べよう！
北海道フェア

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、道内の生産者や飲食店の皆さまにとって厳しい状況が続いています。これまでの日常が戻りつつある中で、飲食店で食事を楽しましむ機会や、大切な人への贈り物を選ぶ機会などが増えていることと思います。出す生産者の皆さまや北海道の食の魅力を伝える飲食店



北海道の公式オンラインショップ「北海道」では、道内各地の食の逸品を数多く取りそろえています。「札幌店」「旭川店」「釧路店」のほか、ことし6月にオープンした「羽田空港店」・「9月に函館西園寺」に初出店した「あべのハルカス店」など、国内外には店舗を展開しています。「北海道とさんこうフェア」でも、今こそ食べよう！北海道フェアを開催中です。年末年始のお買物に、道産食品を選んで買しましょう。



今こそ！
北海道とさんこうフェア

道産食品の発信拠点

今こそ「ご家庭で、飲食店で、そして贈り物で、道民一人一人が、一品でも多く道産食品を選んでいただき、みんなでおいしく食べて、生産者や飲食店の皆さまを応援しましょう。SNSでも「#今こそ食べよう北海道」をつけて、道産食品の魅力を広く発信していただくようお願いいたします。

北海道フェア、北海道とさんこうフェアに関するお問い合わせ：道庁産業振興課 TEL.011-204-5766

北海道知事 鈴木直道



北海道広報番組「知るほど！北海道」
テーマ 今こそ食べよう北海道
STV 2021年12月18日 ④ 午前9時55分～(予定)

番組を見逃した方はこちらからご覧いただけます。



広報紙「ほっかいどう」ウェブ版(HTML版)でも読めるようになりました。



電子書籍版「ガイドブック」
Hokkaido ebook(s)



北海道 公式ウェブサイト



北海道庁広報 Twitter



北海道 ミニカメラ



北海道庁アプリ 「道!!ほっかいどう」



北海道メールマガジン Do・Ryoku(動・力)



北海道庁YouTubeチャンネル 放送局Hokkai・Do・画



クックパッド 北海道公式キッチン



おいしい道産食品は道民の誇り。みんなで、プンス一品の応援を！

道民一人一人が道産食品を支えています。一品でも多く選んで食べて、道内の生産者や飲食店を応援しましょう。

「食べらさってる？」北海道米

北海道米は、さまざまな工夫と進化を重ねて約20品種が生産され、全国トップクラスの作付面積と収穫量を誇っています。特に「ゆめぴりか」「なつめはし」は10年以上「食味3つ星」最高位の特Aを獲得するなど、食味でも全国的に高い評価を得ています。

道では、おいしい北海道米を道民の皆さんにもっと食べていただくため、コトニやスーパーなどと連携し、「食くらさるプーンク」を中心に北海道

米「ロモーション」を展開しています。このプーンクを目印に北海道米を選んで食べて、生産者を応援しましょう。

TEL 011-204-5435

北海道米 食べらさる 米ロモーション LOVE

食べらさるプーンク

北海道米 フローション

牛乳・乳製品の消費拡大に向け、牛乳や乳製品を使った新たなレシピ動画を道民の皆さんや企業から募集し、「牛乳チャレンジ20」乳(New)スタールとして「ミルクランド北海道の工場」で紹介するなど、牛乳製品の消費喚起に取り組んでいます。また、2022年1月には、札幌市と旭川市で「ミルク＆ナチュラチー」を開催。道内で作

牛乳チャレンジ20 ~乳スタール

TEL 011-204-5438

道庁生産振興課

乳製品を味わってください。

行いますのでぜひこの機会に、牛乳、絵画コンクールの入賞作品の展示も製品の販売、牛やミルクのある風景を道民の皆さんや企業から募集し、「牛乳チャレンジ20」乳(New)スタールとして「ミルクランド北海道の工場」で紹介するなど、牛乳製品の消費喚起に取り組んでいます。

とれてます！Oh!さかなフエア

近年、漁獲が増えている「アサギ」や「ニシン」を道民の皆さんにたくさん食べていただくため、道では、飲食店での「アサギ」や「ニシン」の提供や、ハートの型に配布など、3種類の魚に入った「アサギ」や「ニシン」を開催しますので、道産ニシンを食べて、生産者を応援しましょう。

TEL 011-204-5464

とれてます！Oh!さかなフエア

北海道米 フローション

がんばれ！道産食品ポータルサイト

道が登録・認証などを行っている商品を中心に紹介しているポータルサイトです。安全・安心な道産食品を選ぶ際の参考としてください。

TEL 011-204-5427

道庁食品政策課

がんばれ！道産食品 検索

北のめぐみ愛食レストラン

道産食材を利用したごだわりの料理を提供する道内の飲食店・宿泊施設を、北のめぐみ愛食レストランに認定し、ウェブサイトで紹介しています。2021年11月末現在の登録数318店。

外食の際は、「北のめぐみ愛食レストラン」を利用するなど、道産食品を食べて北海道の食を応援しましょう。

TEL 011-204-5432

とれてます！Oh!さかなフエア

北海道米 フローション

生産者に聞きました

有限会社アール・ド・ノア 代表取締役 小栗 龍夫さん (千歳市)

「アサギ」や「ニシン」の提供や、ハートの型に配布など、3種類の魚に入った「アサギ」や「ニシン」を開催します。この機会に、牛乳、絵画コンクールの入賞作品の展示も製品の販売、牛やミルクのある風景を道民の皆さんや企業から募集し、「牛乳チャレンジ20」乳(New)スタールとして「ミルクランド北海道の工場」で紹介するなど、牛乳製品の消費喚起に取り組んでいます。

未来へのかけ橋のデザイン 北海道総合計画を見直しました

2016～2025年度 (平成28～令和7年度)



道では、新型コロナウイルス感染症の流行や、デジタル化・脱炭素化といった動きを的確にとらえ、ポストコロナを見据えた新たな北海道が進むべき道筋を道民の皆さんと共有するため、道政の指針となる北海道総合計画を改訂しました。改訂した計画に基づき、感染拡大防止と社会経済活動の両立が可能となる強靱な社会システムの構築、本道が有する多彩な強みのさらなる磨き上げ、カーボンニュートラルの実現やデジタルトランスフォーメーションの本格的な加速などに取り組み、誰もが安心して豊かに暮らし続けることができる地域社会を実現していきます。

ポストコロナを見据えたさまざまな政策を進めていきます

●道庁計画推進課 TEL.011-204-5630

地域における ICT学習機会の創設

産業の変革に向けた デジタル技術の活用推進

再生可能 エネルギーの導入拡大

総合計画SDGsをわかりやすく説明！ 出前講座受付中

療養終了後も続く症状(いわゆる後遺症)について

新型コロナウイルス感染症は、療養終了後も倦怠感や呼吸器症状、味覚・嗅覚障害など、症状が長引くことがあります。症状によっては、職場復帰などに支障をきたしたり、生活の質の低下につながったりするケースもあります。あなたの周りにも、後遺症で悩んでいる方がいるかもしれません。周囲の理解が大切です。



後遺症状などの相談窓口

新型コロナウイルスの追加(3回目)接種の開始

2回目の接種を完了した日から原則8カ月以上経過した18歳以上の方を対象に、追加接種が始まっています。お住まいの市町村から接種券が順次発送されますので、お手元に届いたら内容をご確認いただき、接種をご検討ください。また、引き続き1・2回目接種が可能ですので、まだワクチン接種を受けていない方は、接種をご検討ください。

※接種の予約・手続きの方法などはお住まいの市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症に関する最新情報はこちら

※2021年11月30日時点での情報をもとに記述しています。最新情報は道のウェブサイトをご覧ください。

新たな食の北海道ブランドづくりを進めています。

アンターコロナを見すえ、食の付加価値の向上を目指す取り組みを紹介します。

北海道の酒アワード2021の開催

道では、道産日本酒・道産酒米のブランド化や認知度の向上に加え、コロナ禍で落ち込んでいる需要の喚起を図ることを目的として「北海道の酒アワード2021」を初開催しました。

対象は、北海道の米を使って製造され、市販されている日本酒。道内外の酒蔵から出品された18種の日本酒を一般消費者など総勢約580人が試飲審査し、グランプリをはじめとする受賞酒が決まりました。

今後、道産日本酒と道産酒米の付加価値向上のための取り組みを進めます。



北海道の酒アワードの授賞式

●道庁農産振興課 TEL.011-204-5435 北海道 酒アワード2021 検索

和牛オリンピックの開催が決定

全国の和牛生産者が丹精を込めて生産した和牛の肉質や生産技術を競う5年に1度の「和牛オリンピック（全国和牛能力共進会）」が、2027年に北海道で初めて開催されます。

北海道が生産量、肉質ともに日本を代表する和牛の産地となるよう、生産拡大や改良の推進、ブランド化などに、全道一丸となって取り組みを進め、本道で開催される和牛オリンピックでの上位入賞を目指します。



第11回全国和牛能力共進会(2017年開催/宮城県)

●道庁畜産振興課 TEL.011-204-5439

ワイン産地・北海道のブランド化向上

北海道は近年、国内外から注目されるワイン産地として急成長を続け、道内には53カ所のワイナリーが集積しています(2021年11月末現在)。また、海外のワインコンクールで受賞を重ねるなど、世界での道産ワインの評価は着実に高まっています。

こうした道産ワインのブランド化向上を目的に、道が2015年から取り組んでいるのが「北海道ワインアカデミー」です。道内で栽培や醸造に携わる人材を対象にした専門的な講座を開講しています。このほか、道産ワインの消費拡大を図るため、道内外で百貨店などと連携したワインフロモーションを進めています。

●道庁食産振興課 TEL.011-204-5138



北海道とさんごアザラシ酒造店でのフロモーション

ワイン造りの学びを生かし、地域に貢献するワイナリー経営を目指します。



ニセコワイナリー 代表 本間 泰則 さん (ニセコ町)

2015年、道が主催する北海道ワインアカデミーに1期生として参加しました。第二の人生の夢を実現するべく、ワイナリー開設の準備をすでに進めていた私にとって、最良のタイミングでの受講でした。

学びの内容は幅広く、経営やマーケティング、市場分析など、ワイナリー経営には必須の科目ばかりでした。また、さまざまな恩師との出会いによって探求心を刺激され、その後、より高度な製造技術を習得する機会にも恵まれました。

そのおかげで2016年、受講生第1号となるワイナリー免許を取得。現在は、有機認証を受けた自園の3つの畑で育てたブドウを原料として、オーガニックスパークリングワインを製造しています。

私が目指しているのは、ニセコの素晴らしい自然環境とユニークな市場特性を生かした持続可能な農業モデルです。世界に通用する品質を求めて研鑽を続け、若い人たちがバックアップしながら、地域経済に貢献するワイナリー経営を進めていきたいと考えています。



草野山を望むニセコワイナリーのブドウ畑

Pick up! 地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。

道庁ウェブサイトに「北海道市町村広報紙(誌)ページへのリンク集」を開設しました。道内17の市町村の広報紙(誌)をパソコンやスマートフォンから読むことができます。ぜひ活用ください。



新十津川町 渡島総合振興局

高校生が地元産ぶどうジュースを開発!

渡島管内で水揚げ量道内一のブドウを広めるため、函館水産高校の生徒が、地元産のブドウと酒かすを使った「函がりブドウ」故郷の宝(仮称)を開発しました。さらに改良を重ねて、魅しブドウのように幅広く受け入れられる商品づくりを目指しています。



●渡島総合振興局水産課 TEL.0138-47-9481 渡島 水産課 ブドウ 検索

特許を取得したお米シロップ

道内一の酒米作付けを誇る新十津川町では、酒米粉、こし水のみを使用した「お米シロップ」を開発し、特許を取得しました。自然な味の甘味料で、パンをおいしくします。町内やウェブサイトで販売のほか、ふるさと納税の返礼品としても注目されています。



しんとつお米シロップ



●新十津川町産業振興課 TEL.0125-76-2134 新十津川町 お米シロップ PR映像 検索

新型コロナウイルス感染症対

年末年始も感染防止行動にご協力を

これからの季節は、窓を閉め、暖房をつけての活動が増え、感染リスクが高まります。屋内での換気をはじめ、基本的な感染防止行動の実践をお願いします。

また、年末年始は人の移動が活発化し、忘・新年会など大人数による飲食の機会が増加します。飲食の際は、北海道飲食店感染防止対策認証店など感染防止対策を徹底しているお店を選び、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話のときはマスクを着用しましょう。特に、大人数や普段会わない人との飲食の際は、より一層注意しましょう。

なお、ワクチンには感染予防効果も示唆されていますが、接種によって感染を完全に防ぐことまではできません。道内でもワクチン接種後の感染が確認されています。ワクチン接種後も、マスクの着用など基本的な感染防止行動の実践をお願いします。





知ってる？わたしたちの北方領土
道では、2022年2月20日(日)まで札幌市の「チ・カ・ホ」内に北方領土啓蒙活動ブースを設置。しごで作成した北方四島のジオラマの展示や北方領土の歴史などの映像放映を行うほか、スライフトーンを利用してARシステムで楽しみながら北方領土問題を知るができます。ぜひ、お立ち寄りください。
※現実の風景に情報を重ね合わせる技術

【北方領土 啓蒙ブース】
道庁北方領土対策課
TEL.011-204-5069



ふるさと納税で北海道立学校を応援してください

ふるさと納税(寄附)で、全額が北海道立学校の子どもたちのために活用される制度をご存じですか？出身地や母校でなくても応援でき、税金も控除されます。
申し込みは、郵送・FAX・メールのほか、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」を利用する方法もあります。詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

【北海道 学校応援課】
教育庁教育政策課
TEL.011-206-6354



道特別支援金申請受付は1月31日(月)締め切りです
新型コロナウイルス感染症対策支援制度において、道では、国の月次支援金などを受給されてない全道の幅広い事業者を対象に、道特別支援金により支援しています。1月31日(月)で申請受付を締め切りますので、申請漏れがないようご注意ください。

【道特別支援金】
道特別支援金コールセンター
TEL.011-351-4101



3月15日(火)からクロスボウは所持禁止になります

銃刀法(銃器所持等取締法)の一部が改正され、3月15日(火)から、クロスボウの所持が原則禁止となります。許可を受けず不法に所持した場合、罪に問われます。所持している方は、最寄りの警察署が無償で引き取りますので、ご相談ください。



【道警 広報課】
北海道警察本部保安課
TEL.011-251-0110



古い工場やビルなどのPCB使用製品は間もなく処分できなくなります！

古い工場やビルには、変圧器やコンデンサ、電気機器の安定器などに、PCB(ポリ塩化ビフェニル)が広く使用されています。しかし、健康被害の危険性が判明したため、1972年以降の製造や新たな使用は禁止されています。

国際条約と法律でPCB廃棄物の処分は義務付けられており、定められた期間に処分しなければ罰金があります。なお、電気機器の確率は感電の恐れがあり大変危険ですので、必ず電気保安技術者に依頼してください。



〈廃棄PCB廃棄物の処分期間〉
●変圧器 コンデンサー など
2022年3月31日まで
●照明器具の安定器・汚染物など
2023年3月31日まで
〈底層汚染PCB廃棄物の処分期間〉
●2027年3月31日まで

【北海道 PCB】
道庁循環型社会推進課
TEL.011-204-5192



鳥インフルエンザ対策にご協力

鳥インフルエンザは、感染した鳥との濃厚な接触などなければ、通常、人には感染しません。また、肉や卵を食べる人に感染することでも報告されていません。しかし、野鳥からウイルスが広まることを防ぐために、次の点に注意しましょう。

- 餌などの飼養農場には、必要がない限り立ち入らない
- 飼育している鳥類に、野鳥が近づかないように気を付ける
- 飼った野鳥やカモなどを素手で触らない(見かけたら最寄りの総合病獣医・捕獲屋へ連絡を)
- 鳥のフンなどを触ったら、手洗いとうがいをする
- 野鳥のいる水辺などを訪れたら、靴底を洗う



【北海道 鳥インフルエンザ】
道庁循環型社会推進課(家畜)について
TEL.011-204-5441
道庁自然保護課(野鳥について)
TEL.011-204-5205



道議会レポート

定例会の概要などをお伝えします。
令和3年第3回定例会(9/14~10/8)

主な議決の状況

- 〈知事提出案件〉
予算案6件/令和3年度北海道一般会計補正予算 など
- 〈議員・委員会提出案件〉
意見案3件
・出産育児一時金の増額を求める意見書
・北方領土問題の解決促進等を求める意見書 など

次回定例会のお知らせ

令和4年第1回定例会は2月7日(木)に開会の予定です。議会中継はスマートフォンでもご覧いただけます。

ウェブサイトをご覧ください
議会中継・録画、議会の日程、会議録、傍聴・見学案内、議会情報などをご覧いただけます。
質問案などの詳細は、冊子「北海道議会情報」でもご覧いただけます。
各総合振興局等での閲覧のほか、希望者への配布も行っています。

【北海道議会】
議会事務局政策調査課
TEL.011-204-5591



おいしい道産品 プレゼント



北海道どさんこラザレ専門店
おススメ!!
道産食品詰め合わせ箱
※発送は2月上旬まで予定しております。

※画像の商品は変更になる場合があります。

応募方法
本紙への意見・感想(今回の掲載内容について)、住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

応募先
〒060-8588(住所不要)
北海道広報広聴課「広報紙1月号 おいしい道産品プレゼント」係

広報紙はつかいどう 特選



掲載記事の関連ページ「広報紙のバックナンバー」などの情報は、上欄からアクセスできます。応募いただいた方の個人情報(当プレゼントの発送以外には使用いたしません)。



みんなの文字

この広報紙は環境に優しい植物性インキを使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

令和3年10月末 北海道の総人口	男	女
5,191,355人(前年同月より43,903減)	2,453,881人	2,737,474人

※人口は毎月公表される統計資料に基づき道庁のデータを掲載しています。
発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.011-204-5110 FAX.011-232-3796

次の応募は、3月号(2月23日(火))に配布開始の予定です。

リコール対象製品を探しています

一酸化炭素(無臭)が死亡事故に至るおそれ室内に漏れ出し

National ナショナル

FF式石油暖房機

リコール対象製品にお心当たりがある場合は直ちにご使用を中止いただきご連絡をお願いします

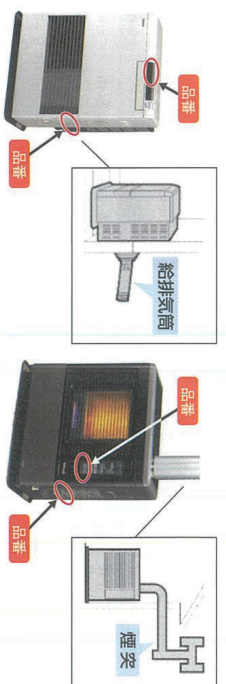
0120-872-773

【受付時間】9:00~17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

【広告】パナソニック株式会社(旧社名松下電器産業株式会社)FF市場対策本部

リコール対象製品をお引取りの際は1台あたり50,000円をお支払いいたします

<リコール対象製品の特徴>屋外に給排気筒もしくは煙突があります



※この広報紙は、パナソニック製に由来する誤りや不具合を正すために掲載しております。